



さがみ野駅周辺の
まちづくりについて
創志会 宇田川希



周辺地域の再整備を望む声が多い
相鉄線さがみ野駅

務を進めてまい
ります。また基本計画
(案) の検討業
務を進めてまい
りたいと考えて
おります。

周辺自治体、関
係機関との協議
を行い、平成29
年度予算の中で、
地元の意見を踏
まえた基本計画
(案) の検討業
務を進めてまい
りたいと考えて
おります。

周辺地域の再整備を望む声が多い
相鉄線さがみ野駅

街頭アンケートの項目は、年代、性別、
住所、駅利用頻度や利用目的、駅への交通
手段、現在の公共施設などへの満足度や再
整備の必要性についてお尋ねしています。

結果は、現在の公共施設などへの満足度
は低く、再整備の必要性を求める意見が多
数でした。また、権利者の勉強会などの出席希望は、83%と非常に高い回答率にな
りました。今後、地元の方との意見交換、
周辺自治体、関
係機関との協議

権利者へのアンケート項目は、所有する
不動産に関する勉強会を開催した場合の出席意向、現在の公共施設などへの満足度や再整備の必要性についてお尋ねしています。

街頭アンケートの項目は、年代、性別、
住所、駅利用頻度や利用目的、駅への交通
手段、現在の公共施設などへの満足度や再
整備の必要性についてお尋ねしています。

問 さがみ野駅前整備事業での平成28年度
に行つたアンケート調査の実施方法などの
内容と回答結果について伺います。

答 (まちづくり部次長) : アンケート調査
の結果は、土地及び建物の権利者の方が
40・9%、さがみ野駅利用者の街頭アン
ケートでは27・8%の回答を得られました。

権利者へのアンケート項目は、所有する
不動産に関する勉強会を開催した場合の出席意向、現在の公共施設などへの満足度や再整備の必要性についてお尋ねしています。

街頭アンケートの項目は、年代、性別、
住所、駅利用頻度や利用目的、駅への交通
手段、現在の公共施設などへの満足度や再
整備の必要性についてお尋ねしています。

問 総合計画の基本部分である「基本構想」
については、国の地方分権改革推進計画に
に基づき、地方自治法の一部を改正する法律
が施行され、法的な策定義務がなくなりま
した。

海老名市第四次総合計画の2年延長を検
討しているとのことであります。その後も総合計画を策定すると考えてよいのか伺
います。また、次の総合計画については、
第四次総合計画を踏襲して、基本構想・基
本計画・実施計画といった3層構造からな
る総合計画とするのか、新しい総合計画と
するのか、考え方を伺います。

問 市民活動センターの指定管理者に市民
の声はどのように届き、運営に反映されて
いるのでしょうか。この施設をつくるとき、
(仮称) 市民活動交流施設管理運営検討委
員会が設置され、「市民・市・指定管理者の
3者が協働して運営できる環境を整えます」
と答申書が出され、市は指定管理者導入時
に検討したいとし、指定管理者は事業計画
書に運営協議会を開催していくことを明記
しています。しかし、3者による運営協議
会は未だ実施されていません。市民活動セ
ンターは市民活動推進のための施設である
からこそ、3者が協働して運営を行うこと
が必要と考え、市の見解を伺います。

問 通常級における配慮が必要な子供に対
しての支援について、ことばの教室とそ
の教室という通級指導教室がありますが、
支援を必要としている潜在的な子ども達が
多くいると考えます。そこで、通級指導の
拡充は検討されていますか。

答 (教育長) : 通級指導教室はニーズがあ
れば増やしていくないと考えます。また、
自校で必要な支援が受けられることが理想
ですので、県とも相談しながら平成29年度
から研究していくと考えます。

問 海老名駅西口開発により、子どもの数
が増えると予想されます。どのくらい人口
増を見込んでいますか。また、海老名小學
校もすば抜けて大規模校でありますので、
市内中心部に新しい学校建設を進める考
えはありますか。

答 (教育長) : 学校を作ると70年間は維持
しなければならないので慎重に考える必要
があります。ただし、急増への対応は必要
なので、短期の再整備計画の中、次年度
の予算編成前に結論を出したいと考えます。

答 (教育部次長) : 平成33年までに集合住
宅2000戸の建設予定で、200人程度
の増を見込んでいます。これは8クラス程
度に相当し、今泉小学校の特別教室を普通
教室に転用すれば対応は可能と考えます。



総合計画について
創志会 倉橋正美



市民活動センターの
運営について
いちらじの会 西田ひろみ

正により、基本構想の法的な策定義務がな
くなり、総合計画の必要性、意義、内容を
自律的に判断することが可能となりました。
まちの将来を描き、まちづくりの指針とな
る総合的な計画は必要であると認識してい
ます。

今後の総合計画のあり方については検討
する時期になつているため、総合計画審議
会などから意見を伺うとともに手続き上の
課題もあるので、議会と相談しながら平成
29年度中に整理していきたいと考えてい
ます。

今後の総合計画のあり方については検討
する時期になつているため、総合計画審議
会などから意見を伺うとともに手続き上の
課題もあるので、議会と相談しながら平成
29年度中に整理していきたいと考えてい
ます。

指定管理者になり利用数が増加している
ことから、3者での協議会による運営では
なく、利用者との意見交換会を年2回程度
開催する予定であります。

その他の質問

- ・海老名市の公共交通について
- ・災害時のトイレスペースについて
- ・他の質問

その他の質問

- ・海老名市の公共交通について

その他の質問

- ・障がい者雇用の今後



今後の学校運営に
ついて
いちらじの会 相原志穂